

第25回 福岡市・北九州市 国家戦略特別区域会議 北九州市提出資料

資料7

新型コロナウイルス
感染拡大防止

AIを活用した
ソーシャルディスタンス
自動検知システム



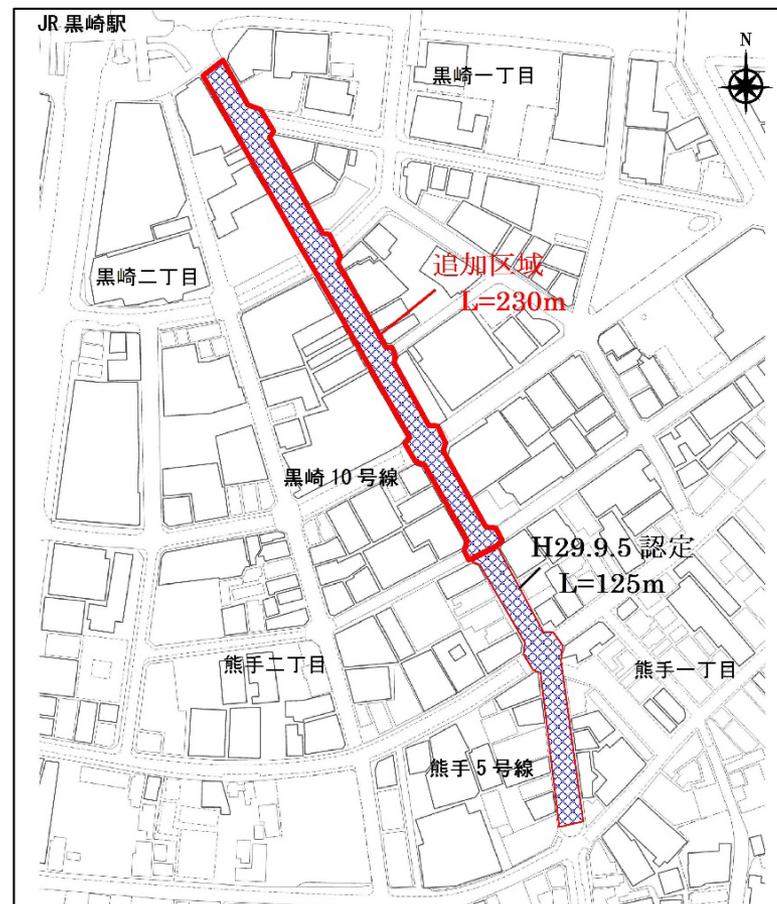
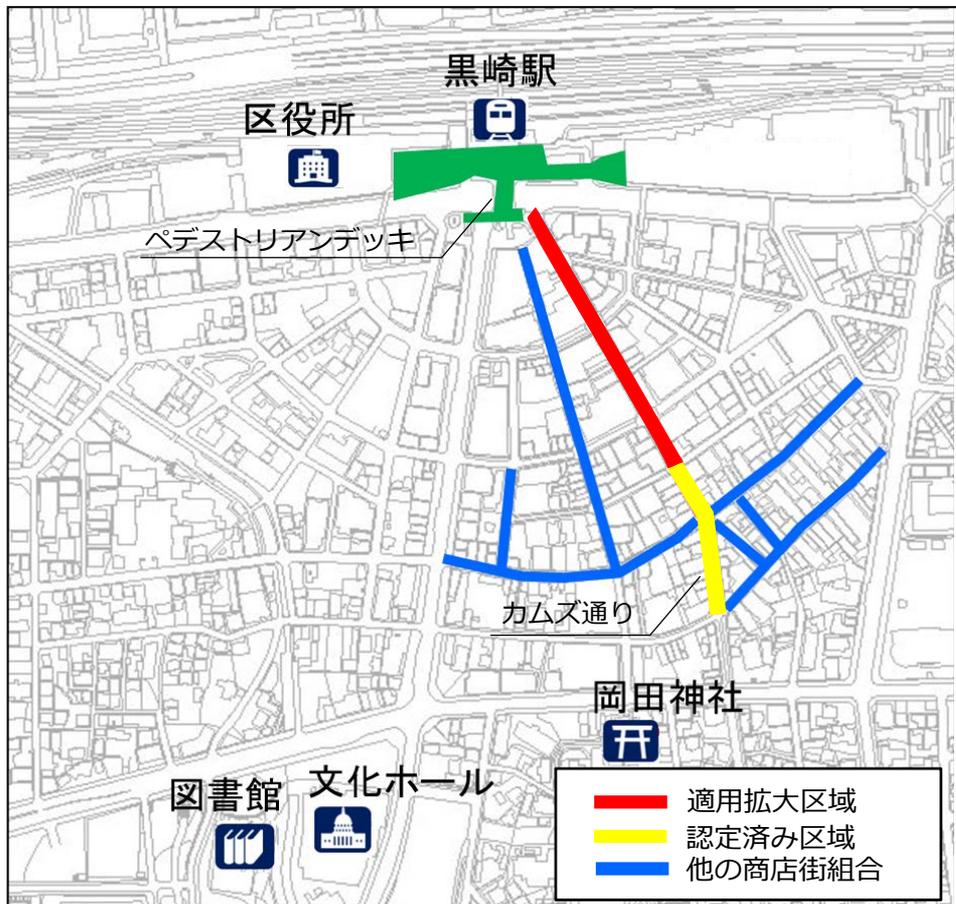
北九州市実証実験
(関門海峡ミュージアム)

副都心・黒崎地区の概要

- 黒崎副都心（JR黒崎駅は九州で6位の乗車人員）に位置する商業地域
- 駅北側には安川電機などの世界的な企業、南側には文化交流・国際交流の拠点が立地
- 平成29年9月5日に国家戦略道路占用事業の認定を受け、継続的・日常的にオープンカフェ等を実施

➡ **新たなにぎわいが生まれるポテンシャルを秘めたエリア**

適用区域の拡大： 黒崎10号線、熊手5号線（カムズ通り）



実施内容〈カムズイノベートプロジェクト〉

カムズ通りの適用区域拡大

目標

- ・黒崎地区の玄関口であるJR黒崎駅のペデストリアンデッキと地区の中心である商店街を切れ目なくつなぐことにより、人の流れの一体化を図る。
- ・オープンカフェやマルシェを継続的・日常的に開催し、様々な人が憩い、交流できる活気あふれる通りにする。

実施箇所

カムズ通り（カムズ名店街・カムズ一番街アーケード道路）

実施団体（民間構成員）

ツグタウン

tugu.town黒崎実行委員会

実施内容（オープンカフェ・マルシェ）

- ・北九州近郊の魅力ある飲食物、雑貨を販売
- ・障害者施設の作品を販売
- ・若手作家のスタートアップの場としても活用
⇒雇用とにぎわいを創出
- ・イスやテーブル等のくつろげるスペースを設置
⇒通行人の交流、憩いの場を創出



**適用区域の拡大により、JR黒崎駅と商店街を切れ目なくつなぎ、人の流れの一体化を図る
⇒エリアとしての魅力をさらに高める**